

今回は、11月27日上場廃止予定のジャスダック上場 NOVA 分析です。

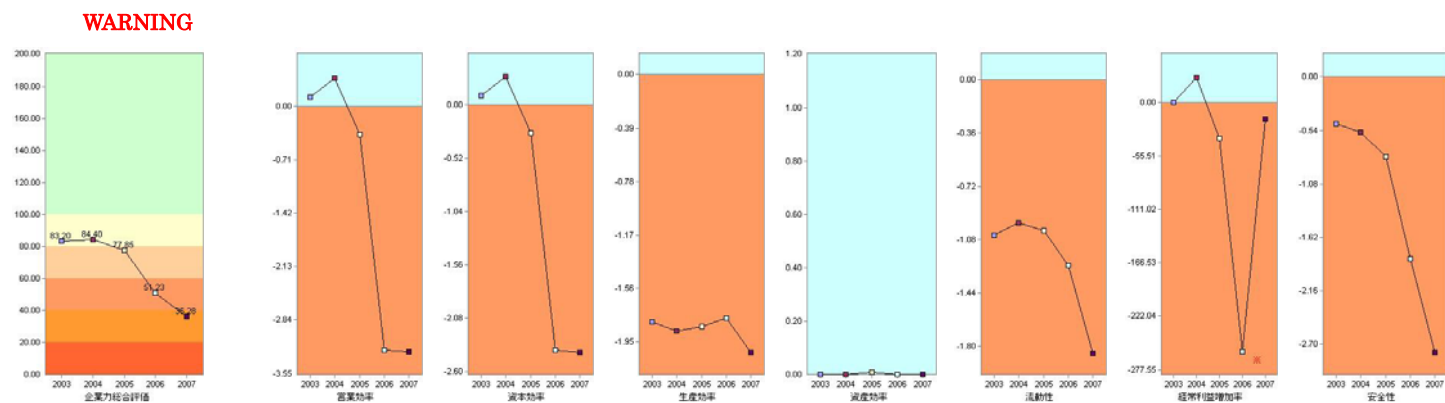
NOVA は 90 年代初頭、ほがらかなお婆さんが、さまざまなシーンで、毎度場違いとも思えるフレーズ「No problem. I am NOVA」と言い放つ CM と、「駅前留学」というキャッチコピーで一躍脚光を浴び、企業の知名度を上げたことで知られています。また当時、外国人を講師に起用したり、最大 3 人（当時）までの少人数レッスン、前払いなら大量チケット購入による低料金も業界では珍しく、英会話業界の風雲児的存在となり業界 TOP に躍り出ました。

ところが、急激な事業拡大による採算性の低下に加え、2007 年 6 月に経済産業省から 6 ヶ月間の業務停止命令（「不実告知」「誇大広告」「債務履行拒否」など）、教育訓練給付金の支給の対象となる教育訓練としての指定の取消処分を受けたこと等により、業績が急激に悪化した、との報道です。従前の代表者である猿橋氏を解任するとともに、10 月 26 日会社更生手続の開始を申し立てました。

総合評価は 5 年を通じて全て 100 ポイント以下で悪化が止まりません。2006 年にはすでに 51.23 ポイントと実質破綻状態にありました。2005 年以降で赤信号領域に入っていないのは辛うじて資産効率のみという状況です。

会社役員は、猿橋社長の暴走をなぜ止められなかったのでしょうか。

【総合評価】 【営業効率】 【資本効率】 【生産効率】 【資産効率】 【流動性】 【経常利益増加率】 【安全性】



NOVA の社是は 9 項目あります。そのいくつかを見ると、上記分析結果を予想させるものです。

⑥自己確立：常識と言うのはある種の思い込みであり、偏見であり、固定観念である。捕らわれ過ぎるのは非常に危険である。常識や偏見の枠を破ったときにこそ発想の飛躍が起きる。真剣勝負で出来上がったプランは 100 パーセント成功するものだ。

⑨前進を忘れて現状維持の発想になったとき企業は終わる：利益はすべて投資にまわし、常に前進していくべし。企業としてのビジョンを追求し、理想や夢を実現させるために全力を尽くす。それが社会の中での企業の使命であり宿命です。前進を忘れて現状維持の発想になったとき……そのとき企業は終わりだと考える。

「数字を見ることなくどんどん前進していった」というのが分かりやすい表現でしょう。

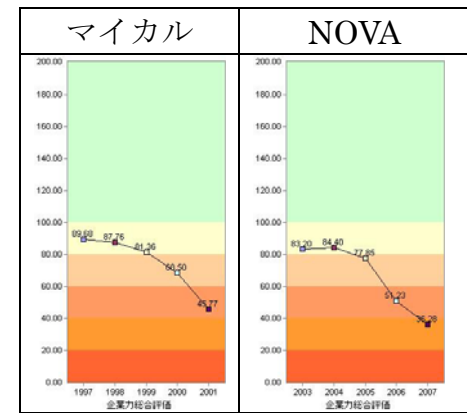
SPLENDID21 の分析結果を見る限り今秋の会社更生法の申し立ては 2006 年に行われてもおかしくない結果となっています。

総合評価が反転することなく下落していった企業にマイカルがあります。このような悪化一途は企業が悪化・その度合いに気がついていない場合か、気がついていても対応が出来ない状況を示しています。役員会無機能化の状態です。

マイカルの破綻はお家騒動の為、役員会が機能していなかったと言われています。

NOVA の破綻は猿橋社長の暴走で、役員会が機能してなかったと言われています。

NOVA の役員の責任もかなりのものと思われます。

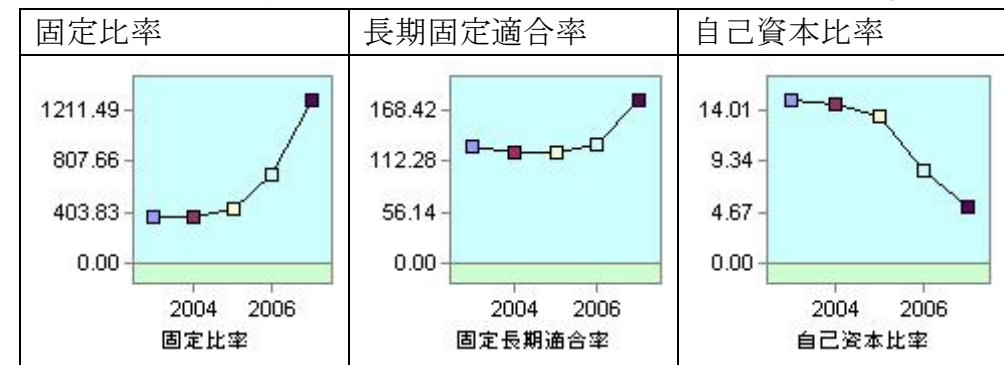


NOVA の安全性の各指標を見てみましょう。

| | 2003 年 | 2004 年 | 2005 年 | 2006 年 | 2007 年 |
|-----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-----------------|
| 資本合計 | 8,821,824,000 | 9,272,455,000 | 9,006,929,000 | 5,810,898,000 | 2,824,253,000 |
| 固定資産合計 | 32,067,695,000 | 34,622,284,000 | 38,553,358,000 | 40,841,250,000 | 36,496,338,000 |
| 固定比率 | 363.50 | 373.39 | 428.04 | 702.84 | 1,292.25 |
| 固定負債合計 | 16,368,295,000 | 19,025,768,000 | 22,715,298,000 | 25,220,457,000 | 17,490,113,000 |
| 固定長期適合比率 | 127.30 | 122.35 | 121.53 | 131.61 | 179.66 |
| 資産合計 | 59,016,647,000 | 63,672,740,000 | 66,948,510,000 | 68,837,623,000 | 55,269,969,000 |
| 自己資本比率 | 14.95 | 14.56 | 13.45 | 8.44 | 5.11 |

マイカルは、破綻前の固定比率 1330.26、固定長期適合率 130.45、自己資本比率 5.72 でした。

ところで NOVA のスポンサーとして名乗り出たのが、(株)ジー・エデュケーション (株)ジー・コミュニケーション 100% 子会社) です。SPLENDID21 の分析をしているとこの(株)ジー・コミュニケーションと言う会社によく行き当たります。焼肉のさかい、パオ (現社名 (株)ジー・ネットワークス) の業績が悪化した際、TOB をするなど、かなり業績の悪い会社を買うことで有名な名古屋の会社です。



まとめ

5 年間の推移を見る限り猿橋社長はもっと早い時点で経営責任を問われてしかるべきであったと思われます。経営が見える化し、誰が見てもおかしいと判断できることが重要ではないでしょうか。勇ましい言葉や曖昧な表現で経営を表現してはいけません。

お問い合わせ先 SPLENDID21 に関するお問合せは下記までお願いいたします。

〒840-0015 佐賀県佐賀市木原 2-6-5 税理士法人 諸井会計
tel 0952-23-5106 fax 0952-22-2888 ☒ info@moroi.co.jp URL <http://www.moroi.co.jp>